

2019年1月16日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

富山県・富山県警察との『安全・安心のまちづくりに関する取組み』の開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、富山県における犯罪・事故のない安全で安心なまちづくりを実現するため、富山県（防災・危機管理課長：山崎 孝志）、富山県警察（生活安全部長：福田 敏彦）と『安全・安心のまちづくりに関する取組み』を開始したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・富山県と損保ジャパン日本興亜富山支店は、2017年3月14日に『地方創生に関する包括連携協定』を締結しました。今回の取組みは、協定内容のひとつ「地域の安全・安心、災害対策に関すること」の取組みの一環です。
- ・損保ジャパン日本興亜は、富山県の安全・安心なまちづくりに貢献するため、「動く防犯カメラ」とも言われるドライブレコーダーを普及させることで、防犯に活用したいという思いから、富山県と損保ジャパン日本興亜が共同で防犯に関するステッカーとパンフレットを作成する運びとなりました。これを活用することで、富山県の皆さまへ「安全・安心なまちづくり」を呼びかけます。
- ・富山県警察は、防犯対策として、日常生活や事業活動を行いながら、防犯の視点を持って子供を見守る「ながら見守り」を推進しています。「ながら見守り」について、富山県の皆さまに広く知っていただくために、上記パンフレットに富山県警察からのお知らせとして、「ながら見守り」について掲載する運びとなりました。

2. 取組みの目的

富山県、富山県警察および損保ジャパン日本興亜は、相互連携により、富山県における犯罪・事故のない安全で安心なまちづくりの実現を図ることを目的とします。

3. 取組みの主な内容

以下の3項目において連携を行います。

- (1) 富山県と損保ジャパン日本興亜が共同で作成した「ドライブレコーダー搭載車ステッカー」を富山県の皆さまに配布し、ドライブレコーダーを搭載したお車に貼っていただくことで犯罪や事故に対する意識を高めることに繋げる。
- (2) 富山県と富山県警察および損保ジャパン日本興亜が共同で作成した防犯に関するパンフレットを富山県の皆さまに配布し、安全・安心なまちづくりを広く呼びかける。
- (3) 損保ジャパン日本興亜富山支店は、富山県、富山県警察が推進する「ながら見守り」に協力する。



4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、この取組みを通じて、地域の住民の皆さまが安心して暮らせる安全な地域社会の創生に貢献していきます。

以上